

よこすか市議会だより

No. 1

創刊/平成12年(2000年)7月1日

発行：横須賀市議会 編集：市議会だより編集委員会

〒238-8550 横須賀市小川町11番地

TEL: 0468(22)8460(総務課)・(22)8463(議事課)

FAX: 0468(24)2663

ホームページ:

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/council/index.htm>

e-mail: ga-ccs@city.yokosuka.kanagawa.jp

市役所庁舎の移転や建て替えなどに合わせて、市議会の議場も何度かその姿を変えてきました。今では貴重となった当時の写真もご紹介します。



●現在の市議会議場

平成12年第1回定例会の質疑(代表質問)風景です。昭和60年(1985年)4月に新庁舎が完成しました。議場は東京湾を遠望できる本庁舎1号館10階にあり、ここで市政に関する重要な事柄が決められます。

これに就いて地方自治体の持つ自己決定権が拡大される一方、それだけ自己責任も大きくなり、市の意思決定や予算執行に対するチェックなど、市議会の果たすべき役割も今後ますます重要になっていくものと考えられます。

本市議会としても、こうした責務を十分に認識し、さらに活発な議会活動の推進に向けて努力していきたいと思っています。

今後とも市議会をより身近に感じていただくため、市議会ホームページの充実や市民ホールなどでの本会議テレビ中継など、さまざまな機会をとらえて皆さんに情報提供を進め、「よりオープンで活気ある議会」を目指してまいります。

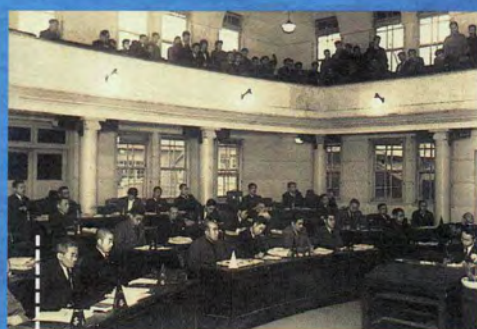
●昭和45年(1970年)当時の市議会議場

昭和40年12月に、現在の本庁舎北口駐車場の辺りに市議会議事堂が新築されました。今の議場と形が似ていますが、傍聴席入り口や音響調整室・記者傍聴席(右上)の配置が現在と異なっています。



●昭和25年(1950年)当時の市議会議場

議場は現在の本庁舎2号館辺りにあり、冬季は議場内でストーブがたかれていました。2階の傍聴席はコの字型でした。



市議会だより創刊にあたって

横須賀市議会議長 青木 茂

このたび、市議会の仕組みや制度、新しい委員会構成などの情報をお知らせする「よこすか市議会だより」を創刊することとなりました。

現在、地方分権が進展する中で、国と地方自治体の関係は、これまでのいわば上下の関係から対等な関係へと大きく変わりつつあります。

YOKOSUKA CITY COUNCIL

YOKOSUKA CITY COUNCIL



市議会はいま...

議会の活性化方策について 委員会の答申を受けて

市議会では、平成十年十一月に議長の諮問機関として「議会活性化推進委員会」を設置し、十二年三月末までの約一年半にわたり、市議会活性化のための方策について検討してきました。その間、委員会は会議を延べ十五回開き、百三十余の提案項目のうち八十項目について各会派の合意を見ることができ、議長に対し第一次、第四次の答申を行いました。

【議会の運営に関して】

●傍聴の機会を多くするため、委員会の開会は原則1日2委員会までとし、審査のための予備日を十分設けることとしました。

●議長は権能を十分に発揮させるため、議長の間任期間を従来の1年間から当面2年間としました。(ただし副議長は1年間)

●執行機関をチェックする議会の立場から、法令に定めのある場合を除き、議員は18の審議会等の委員や役員等に就任しないこととしました。

●委員会審査に当たって、公聴会や参考人の制度を積極的に活用することとしました。

【請願・陳情に関して】

●請願・陳情の提出に必要であった押印を、自筆署名があれば省略できるようにしました。

●提出された請願は、原則として継続審査は行わず、委員の任期中に結論を出すようにしました。

●請願の紹介議員は請願内容に精通し、採択及びその趣旨の実現に努力しなければならぬなど、その役割を明確化しました。

【委員会傍聴に関して】

●委員会条例を改正し、議会運営委員会を含め、委員会は公開とすることを明記しました。

●委員会の傍聴定員を10人に増やし、審査中の議案や説明資料を見られるようにしました。

●傍聴者の要望があれば、手話通訳者の同伴や

第3回定例会から 本会議を 本庁舎内でテレビ中継

市議会では、来庁者に少しでも議会の様子を知っていただく機会を増やそうと、議会活性化推進委員会の答申に基づき、「本会議場テレビ中継システム」の設置工事を行うこととしました。これは、議場内に四台のテレビカメラを設置して、本庁舎内(三号館、階市民ホール、一号館一階窓口サービス課前、十階理事者待機室など)のモニターテレビで本会議の様相を放映し、気軽に視聴できるようにするものです。

九月上旬から始まる平成十二年第三回定例会からは、開庁時間内で本会議のある日は議場中継を、それ以外の日は本市紹介ビデオなどを放映する予定です。

盲導犬の帯同を行えるよう配慮することとしました。

【議会情報の提供に関して】

●会議日程ポスターを市広報掲示板、行政センター掲示板などに掲出するようにしました。

●本会議での議員の発言通告書を事前に市議会ホームページに掲載することとしました。

●委員会や会派の視察報告書を市議会情報コーナーで閲覧できるようにしました。



常任委員会の審査風景(総務)

第2回定例会の概要

中核市の指定に係る 申出議案などを可決

市議会は5月23日から6月5日までの14日間、第2回定例会を開会しました。5月23日の本会議では、原島浩子議員(ネットワーク運動よこすか)、室島真貴子議員(公明党)、原田章弘議員(社会民主市民連合)、井坂新哉議員(日本共産党)、一柳洋議員(社会民主市民連合)、角井基議員(社会民主市民連合)の6人が一般質問を行い、次の項目について市長の考えをたずねました。

▼ごみ処理広域化計画における減量化、資源化計画▼おもちゃの病院の設置▼市民意識調査などのアンケート実施▼芦名地区産業廃棄物最終処分場建設計画におけるアセス審査書▼ディーゼル車対策▼子育ての重要性

次に、市長から平成12年度一般会計補正予算、行政手続条例改正、中核市の指定に係る申出など13件の議案が提出されました。

5月30日の本会議では、市長から提出された13件の議案を承認並びに原案どおり可決したほか、教育予算の増額等に関する意見書を可決し、関係大臣に提出しました。

6月5日の本会議では、各委員長からの閉会中継審査の申し出をそれぞれ決定したほか

介護保険問題・廃棄物処理問題 特別委員会の活動状況

議会活性化推進委員会の第二次答申に基づき、市議会では昨年五月の第一回臨時会で、現在、本市の重要なテーマとなっている「介護保険問題」と「廃棄物処理問題」に関する審査のため、二つの特別委員会を設置しました。これらはいずれも十二人の委員で構成され、平成十三年三月末までの二年間にわたり、継続して審査することとなっています。

介護保険問題特別委員会では、昨年度は会議を延べ七回開き、介護保険制度の概要、よこすか高齢者保健福祉計画などについて、広範な審査を行いました。

同委員会は、昨年九月に参考人として本市の介護保険事業計画策定委員会副委員長をお呼びし、「同策定委員会の指針及び今までの経過」について説明を受け、質問を行いました。

一方、廃棄物処理問題特別委員会では、所管視察を含めて会議を延べ九回開き、廃棄物の広域処理やその他の廃棄物処理問題について審査を行いました。

同委員会は、本年三月に一年間の審査結果を踏まえて、「資源循環型社会の早期実現に関する意見書案」を決議し、本会議で全会一致で可決され、関係大臣などに提出しました。

地方分権にかかわる 条例制定等検討委員会 などを設置

市議会では、このほど議長から諮問された三項目について検討する機関として「地方分権にかかわる条例制定等検討委員会」を設置しました。

この委員会では、地方自治法の改正に伴い、平成十四年中に定める必要が生じた本市議会の「議員定数条例」一案の検討をはじめ、これまで定められていなかった「議員の政治倫理条例」等の制定、現在の「市政功労者制度」の改正について検討します。

また、同じく議長から諮問された「市議会情報誌の発行」について検討するため、「市議会情報誌検討委員会」も設置しました。

これら二つの委員会の運営等は、議会運営委員会と同様で、委員は十人。任期は平成十三年三月末日までです。

今後それぞれ積極的に検討を進め、結論が得られた項目については、速やかに議長に答申することとなっています。

市議会では本年度も両特別委員会を設置し、検討課題について審査を進めています。

か、追加提出された次の意見書案を可決し、国会や関係大臣などに提出しました。

米海軍横須賀基地12号、バス 区域汚染土壌対策工事の安全 強化を求める意見書

現在、米海軍横須賀基地においては、12号バス整備を行うに先立ち、汚染土壌を封じ込めるための工事が進められている。

横須賀市としても、工事に当たり、特に環境面の配慮を国に申し入れていたところであるが、去る5月19日、工事中の既設石積み護岸の崩落により、土壌が海中に流出し、付近の海水から国の環境基準値を超える重金属等の有害物質が検出されるという事故が発生した。

環境問題が社会的にも重要視され、その安全性に対する市民の関心が高まっているところでもあり、今後、二度とこのような事故を起こしてはならないと考えるものである。

よって、国会及び政府におかれては、崩落の原因究明はもとより、今後の工事の進行に際し、十分な安全対策を講じられるよう強く要望する。

横須賀市議会として第一号の「市議会だより」を発行することとなりました。

昨年十二月から編集委員会を組織し、内容の検討を進めてきましたが、委員にとっても初めての経験のため、からの勉強となりました。しかし、発行する以上は市民にとって親しみやすく、わかりやすい内容とし、しかも横須賀ならではの新鮮なレイアウトにしたいという点で意見が一致しました。

なにぶん限られたスペースのため、議会のすべてのことを盛り込むことはできませんでしたが、市議会を少しでも身近に感じていただければ幸いです。

地方分権の進展や中核市への移行に伴い、市議会が果たすべき役割は、今後ますます重要となつてきます。

市議会では、これからのさまざまな方法で市議会情報を皆さんに積極的に提供していきます。

(編集委員一同)



／編／集／後／記／

市議会だより編集委員会

- ◎委員長 青木 良夫
○副委員長 矢島真知子
委員 松井 哲二
委員 丸山 明彦
委員 室島真貴子
委員 原田 章弘
委員 山本 文夫
委員 井坂 新哉
委員 原島 浩子
委員 加藤 和宏

議会ダイアル

- 自民クラブ ☎22-8529
新政会 ☎22-8450
公明党 ☎22-8453
社会民主市民連合 ☎22-8454
自由民主党 ☎22-8451
政風21 ☎22-8455
日本共産党 ☎22-8456
ネットワーク運動よこすか ☎22-8452
Y.C.C.(横須賀市民連合) ☎22-9840
無所属 ☎22-8469